

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 永奥 啓

余った種子を無駄にしませんか

春の種まき後の種子はどうしていますか

野菜や花きの種まきを終えた人が多いと思いますが、余った種子はどうしていますか。

販売されている種子の多くは、有効期限が「1年」と袋に表示してあります。この期限が切れたら、捨ててしまう人が多いのではないのでしょうか。

ちょっと待つてください。野菜や花きの種類、保管方法によっては、まだまだ数年は使えるものが多くあります。

有効期限と種子の寿命

袋に書いてある有効期限は発芽率の保証期間のことです。有効期限を過ぎたものでも、まだ実用上問題なく使えるものがあります。ただし、本来発芽能力がある種子でも、扱いが悪いとその能力を大きく低下させることもあります。

例えば、種子が店の軒下の西日にさらされる場所で販売されていた場合や、使いかけの種子を高温・多湿の場所に放置した場合などは

種子の寿命が短くなります。

主な種子の寿命

長命種子（3〜4年以上保存可能）といわれるものは、アサガオ、

ケイトウ、コスモス、キンセンカ、ヒマワリ、ナス、トマト、キュウリ、スイカ、カボチャなど。中間

寿命の種子（2〜3年程度保存可能）は、アスター、スターチス、

パンジー、ローダンセ、ダイコン、レタス、ピーマン、ハクサイ、キャベツなど。短命種子（1年）はサ

ルビア、デルフィニューム、プリムラ、ネギ、タマネギ、ニンジン、ゴボウなどです。

※保存可能期間は室温・低湿で保管した場合。

※種子の寿命期間は、研究者により多少の差異あり。

種子の寿命を延ばすために

種子の寿命を延ばすには、冷蔵庫で保管するのが効果的ですが、密閉できる容器に乾燥剤と一緒に入れ、日が当たらないところで保管しても、実用上問題ありません。

なお、保管した種子は、種まきの前に念のため、問題なく発芽するか確かめてから、実際に使用するのが安全です。

問い合わせ

農業振興課 農業振興係
0824・73・1131

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介しています。まちを知り、地元の新たな魅力を発見することで、人を、まちを、もっと好きになりますように。



「庄原バル」オーナー 眞鍋 蘭

前はカフエオーナーの島津夏菜さんから、お話を聞きました。今回は島津さんがカフエをオープンするきっかけを作ったキーパーソン（鍵となる人物）、眞鍋敢さんにお話を聞きます。

好きなことを仕事にする

「好きなことを仕事にするのは大変だ」「好きなことは仕事にしない方がいい」という誤解があると、私は思っています。

好きなことを仕事にするのはそれほど難しいことはありません。時間をかけて、情報収集して、足で稼いで、人を頼って、決断すれば、大体のことはできます。

好きなことを仕事にすると毎日がとても楽しいです。大変だと思ったり、辞めたくなったりしたら、そんなに好

人が好きだから人が集まる

大きなことではなかったのだと思います。だから私は、好きなことを仕事にすることを、特に若い人たちに推奨しています。

人を相手にする仕事で最も大事なことは、「人間」を好きかどうかです。

学生時代から島津さんのところには、先輩、後輩、社会人、お年寄りなど、性別年齢を問わず、いつもいろいろな人が集まって来ていました。

人が好きだから、人が集まる。リピーターが主なお客さんになる庄原のような町でカフエをやるには、欠かせない才能だと思っています。



学生時代の島津さん

SNSの投稿募集中
「#庄原が好き」
で投稿!



投稿を
チェック

問い合わせ

自治定住課定住推進係
0824・73・1257